

須磨寺訪梅
(正月二十日)

梁啓超

羣童氣作竹筒吹

爭報梅花已滿枝

強起扶攜來野寺

相憐幽獨負歡期

繁香經雨半零落

一樹栖巖稍振奇

欲覓潘生高會處

女王綦迹沒多時



今年2023年は近代中国の知的巨人ともいふべき思想家梁啓超(1873-1929)の生誕150周年に当たります。彼の長い日本亡命生活において、約6年間の歳月は神戸で過ごしていた。孫文研究会はこの節目の時と彼とゆかりのある地にちなんで、国際記念学術シンポジウムを開催します。

梁啓超生誕一五〇周年記念学術シンポジウム

2023年11月25日(土)

【主催】孫文記念館・孫文研究会

【日時】2023年11月25日(土)10:00開会、16:00閉会予定

【会場】孫文記念館(移情閣)1階ホール/オンライン(Zoom)併用

【定員】30名(孫文記念館で対面参加の場合)

孫文記念館(移情閣)

〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051番地

TEL 078-783-7172 FAX 078-785-3440

E-mail sunwen20@aioros.ocn.ne.jp

アクセス JR舞子駅徒歩5分

山陽電鉄舞子公園駅徒歩6分

アクセスマップ 公式HP



梁啓超と近代知の諸相

梁啓超が生を享けて今年で一五〇年となります。孫文研究会は、この記念すべき年に、彼の思想と行動を再考する国際シンポジウム「梁啓超と近代知の諸相」を開催いたします。梁啓超の多方面にわたる言論は、人々が中国を、そして世界を観察し、思考する枠組みを大きく変えました。一国単位の経済や文化を、より普遍的な世界の潮流へと合流させるには、どうすれば良いか。自律した個人は、共通の信条に基づいた政治集団をどうやって形作ることができるか。梁啓超は、それらを真剣に模索し、たくさんの文章を残してくれました。シンポジウム当日は、そうした文章の中から、これまで注目されることが少なかった日本関係の言説を中心に、五名の報告者の皆さんと、梁啓超が託したメッセージを読み取ってゆきたいと思います。

【プログラム】

第1部:10:00~11:40 司会 緒形康(神戸大学教授)

開会の挨拶 石川禎浩(京都大学教授)

■ 安東強(中国・中山大學教授)

「民国元年における「康梁派国民党」の組織について」(民元康梁派国民党的組織形態)

■ 川尻文彦(愛知県立大学教授)

「在日時期、梁啓超の社会主義認識」

第2部 13:00~16:00 司会 緒形康(神戸大学教授)

■ 森岡優紀(国際日本文化研究センター日本学術振興会特別研究員)

「痛恨と悔いの歴史叙述：梁啓超の『殉難六烈士伝』と康有為の『我史』」

■ 鍾文博(台湾・国父紀念館研究員)

「梁啓超の台湾遊歴と日本統治時代の知識人に与えた影響」(梁啓超遊台対日拋時期台湾士人之影響)

■ 黄斌(早稲田大学東アジア国際関係研究所招聘研究員)

「梁啓超の学問とリベラルアーツ」

ディスカッション

閉会の挨拶 緒形康(神戸大学教授)

【参加申込・お問い合わせ先】

- 参加希望の方は、右記 QR コードよりお申込み下さい。
- お問い合わせ先: sunwen20@aioros.ocn.ne.jp (孫文研究会)

